

～有機農業で楽しい生き方を～  
長尾 正人さん(今治市)

愛媛県有機農業研究会 会長 1971 年生まれ  
愛媛県農協青壮年連盟 参与



☆経営概況☆

水稻 2.8ha、小麦 60a、タマネギ 30a、ジャガイモ 50a  
ニンジン 20a、ニンニク 10a、ゴボウ 10a、その他野菜  
30a 労働力は本人、父、妻



☆ここがポイント☆

大学では土木工学を学び千葉県で現場監督として 10 年間従事。残業や休日出勤のライフスタイルが合わず、Uターンを決意して就農し15年目になります。

実家は専業農家で父親が有機農業に取り組んでいたため、自らも**有機農業**を目指し市の有機農業講座や資料の読破、視察等により基礎的な知識の習得や視野を広めると共に日々研鑽を重ね、日頃の実践を通して技術を積み重ねてきました。

**有機水稻栽培**では基本技術である成苗移植、深水管理、米ぬかによる雑草管理により収量確保に努めています。**野菜類の栽培**では雑草対策としてマルチを使用し、食酢等の散布による病害対策や畝間の雑草も完全に除草するのではなく、天敵の生息場所としてある程度雑草を生やし、生物多様性を重視した生態系のバランスのとれた効率的な方法を目指し有機栽培に取り組んでいます。

また、太陽熱消毒等も取り入れ、より合理的に病害虫や雑草の管理を行っています。

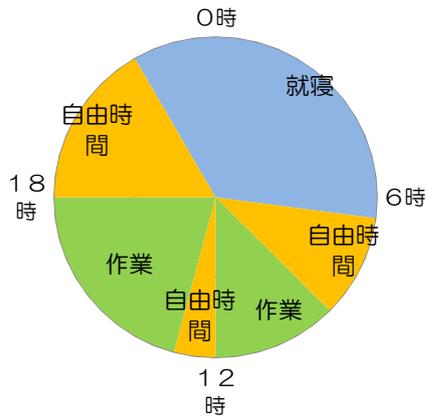


成苗田植機による移植



有機水稻の収穫

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

日曜日は休日とし、夜は仕事をしないことを基本としています。

1年に1回は家族旅行に出かけています。

子供がまだ小さいので車で移動し、九州や北陸方面まで足を伸ばします。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 栽培管理・出荷 →					休日
【普通期】	← 栽培管理・出荷 →					休日



タマネギへ食酢を散布



ニンジンの収穫

☆これからの夢や目指すもの☆

経営的には、農地を集約し面積をもう少し増やし水稻の拡大や野菜の種類を増やしたいです。また、栽培を科学的な視点で見つめ、土づくりを基本に生物多様性の意義を農業生産に活かし、慣行栽培と変わらない物ができるところを見せたいと思っています。そして、有機の仲間を増やしグループで対応できるようネットワークを築きたいです。

☆メッセージ☆

農業は内にこもりがちとなるので、就農する前に異業種に就き社会のルールを学び広い視野を持つことが大切です。農業は現実もあるが、楽しいことが多いので作業は苦になりません。